

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月20日	記入者		連絡先	2632	
平成18年度部名	保健福祉部	課名	介護予防推進室	課長名	佐藤浩三	
平成19年度部名	保険高齢部	課名	介護予防推進課	課長名	佐藤浩三	
事務事業名	介護予防訪問事業					
予算上の事務事業名	介護予防訪問事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造					
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	第3期高齢者保健福祉計画			保健師、理学療法士などの訪問による相談・指導		
計画年次	平成18	年度～	平成20	年度		
4 事業形態の区分	サービス提供			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
保健師、理学療法士などが、対象者の居宅等を訪問し、生活機能等に関する問題の解決を図る。				要支援・要介護状態になるおそれのある特定高齢者等		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
理学療法士が、対象となる特定高齢者の居宅等を訪問し、生活機能等に関する問題の解決を図るため、相談・指導を行った。(平成18年度については、本事業の位置付けでの保健師及び作業療法士の訪問はなし。)						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	35	0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	35	0	0	
人件費の合計	0	0	805	0	0	
事業コスト合計	0	0	840	0	0	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	介護予防訪問事業			対象名称 と単位	訪問延件数(件)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)			840			
対 象 数			63			
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	13,333	#DIV/0!	#DIV/0!	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	訪問実施率（％）	指標式と指標の説明	実績延訪問件数 / 計画延訪問件数 × 100 計画訪問件数に対する実績訪問件数の割合		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			116.7		
目標			100.0		
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	116.7		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	要支援・要介護認定者数の推計値に対する要支援・要介護認定者数の実績値	指標式と指標の説明	要支援・要介護認定者数の推計値 ÷ 実績値 × 100 推計認定者数に対する実績値の達成状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			104.7		
目標			100.0		
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	104.7		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		特定高齢者を対象とした訪問による事業については、口腔機能向上、栄養改善、認知症予防など、介護予防全般の分野にわたって拡大する必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策 通所による事業への参加が困難な特定高齢者に対し、歯科衛生士、栄養士等の専門職による訪問指導・相談のプログラムを提供する。			15 課題として認識されたこと 各訪問プログラムを実施するための専門職の確保。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課長による評価のとおり、介護予防事業の分野を拡大する方向で、事業の実施を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			